

**M-AUDIO®**

**KEYSTATION MINI 32 MK3**

---

クイックスタートガイド

## 安全にお使いいただくために

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[ サポート ] <http://m-audio.jp/support/> [ Web ] <http://m-audio.jp>

# クイックスタートガイド

## はじめに

Keystation Mini 32 MK3 をお買い上げいただきありがとうございます。M-Audio は「お客様のパフォーマンスを最高のものにする」ということを唯一念頭に置き、製品設計を行っております。

## 同梱物

- Keystation Mini 32 MK3
- ミニ USB
- ソフトウェア・ダウンロードカード
- ユーザーガイド/保証書

**重要：** <http://m-audio.jp> から、完全版ユーザーガイドをダウンロードしてください。

## サポート

Keystation シリーズの各モデルの最新情報につきましては、製品ページをご覧ください。

<http://m-audio.jp>

また、製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。

<http://m-audio.jp/support/>

## キーボードを接続する

※同梱物リストにないものは別売りです。

- Keystation Mini 32 MK3 キーボードに、付属の USB ケーブルを、ご使用のコンピュータの空いている USB ポートへ差し込みます。
- USB ケーブルのもう一方が、キーボードに電源を供給するだけでなく、コンピュータとの MIDI データの送受信を行います。

1 本の USB ケーブルが、キーボードに電源を供給するだけでなく、コンピュータとの MIDI データの送受信を行います。

Keystation Mini 32 MK3 を USB ハブへ接続する場合は、外部電源を持つ USB ハブを使用してください。電源を備えていない USB ハブを使用すると、そのハブに他のデバイスが接続されている場合に十分な電力が得られない可能性があります。

Keystation Mini 32 MK3 と同じ USB ハブにはオーディオ・インターフェイスは接続しないでください。

Keystation Mini 32 MK3 は、iPad などのデバイスと問題なく接続できます。別途、Apple iPad Camera Connection Kit をご用意ください。

### ソフトウェア

ソフトウェア：Keystation Mini 32 MK3 と Pro Tools/First M-Audio Edition を同梱しているので、すぐに音楽を作り始めることができます。m-audio.com からユーザーアカウントにサインインしたら、Keystation Mini 32 MK3 を登録し、Pro Tools/First M-Audio Edition のインストール手順に従ってインストールしてください。

## バーチャル・インストゥルメント：

付属のバーチャル・インストゥルメント・プラグインをインストールするには、ソフトウェア・ダウンロードカードの指示に従ってください。インストール後、ほとんどの DAW はバーチャル・インストゥルメント・プラグインを自動的に読み込みません。Pro Tools/First M-Audio Edition でバーチャルインストゥルメント・プラグインにアクセスするには、スキャンするソフトのプラグインフォルダを選択して下さい。

**Windows (32 ビット)：** C:\Program Files (x86)\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins

**Windows (64 ビット)：** C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins

**macOS：** Macintosh HD/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins

インストールが完了したら、Keystation Mini 32 MK3 キーボードと共に使用するために、ご使用の音楽ソフトウェアを設定する必要があります。Keystation Mini 32 MK3 は本体にサウンドのプリセットを搭載していないため、キーボードから直接サウンドを聴くことはできません。キーを押すと、インストゥルメントがどの様に演奏されるべきかを指示する MIDI データがキーボードから送信されます。そのサウンドを聴くためには、Keystation Mini 32 MK3 からの MIDI データを受信して演奏できるように音楽ソフトウェアを設定する必要があります。ご使用の音楽ソフトウェアの「オプション」メニューまたは「デバイス・セットアップ」メニューから適切なデバイスを選択してください。

## Pro Tools | First M-Audio Edition セットアップ方法：

Keystation Mini 32 MK3を付属のUSBケーブルを使用してコンピュータのUSBポートに接続し、Pro Tools | First M-Audio Editionを起動します。

プロジェクトを開く、または作成します。

Setupプルダウンメニューを選択し、MIDI Input Devicesを開きます。Keystation Mini 32 MK3の横にあるボックスをクリックして、Keystation Mini 32 MK3からのMIDI入力を有効にします。

Setupプルダウンメニューを選択し、Playback Engineを開きます。Playback Engineのプルダウンメニューからオーディオデバイスを選択します。

新しいインストゥルメント・トラックを作成するには、「Track」プルダウンメニューを選択し、「新規」を選択します。

プルダウンメニューで、「Stereo」、「Instrument Track」の順に選択します。

新しく作成したトラックで、トラックのインサートA~Eをクリックし、「Multichannel Plugin」>「Instrument」を選択し、Xpand! 2 (Stereo) など、使用したいインストゥルメントを選択してインサートをトラックに追加します。これでKeystation Mini 32 MK3でプラグインを起動できるようになりました。

注：Windows ユーザは、外部サウンドカード（M-Track 2X2 など）または低レイテンシーASIOドライバが必要です。

**Windows ユーザーへの注意**：Keystation Mini 32 MK3 を Pro Tools/First M-Audio Edition で使用するには、m-audio.com から Keystation Mini 32 MK3 Windows ドライバをダウンロードしてください。

## はじめに

**重要：** <http://m-audio.jp> から、完全版ユーザーガイドをダウンロードしてください。

### キーボード

Keystation Mini 32 MK3 で演奏できるのは 2.5 オクターブです。キーボードの音域は 88 鍵の鍵盤のおおよそ中央です。「OCT」の「+」または「-」ボタンを使うと、88 鍵のキーボードのすべての音域にアクセスできます。

**オクターブ・ボタン(OCT)：**アサイン可能なオクターブ・ボタンを使うと、1 オクターブ単位（一度に 12 半音）で鍵盤を上下にシフトできます。これによってキーボードの音域を左右へ最大 4 オクターブ移動でき、32 鍵の外側の音の演奏が可能になります。

初めて Keystation Mini 32 キーボードに電源を入れたときなど、デフォルトの状態ではボタンのバックライトは赤色です。ボタンのいずれかを押しすと、そのボタンの色が緑色に変わり、オクターブが変更できることを示します。

Off	緑色	橙色	赤色	赤色点滅
0	+1	+2	+3	+4
0	-1	-2	-3	-4

オクターブのシフトを 0 へ戻すには、「+」ボタンと「-」ボタンを同時に押します。両方の LED が 50% の明るさの通常の赤色に戻り、オクターブのシフトが 0 へ戻ったことを示します。エディット・モードでこれらのボタンに他の機能を割り当てることができます。

### **ピッチベンド・ボタン (PB)**

その名が示す通り、このアサイン可能なピッチベンドはキーボードで演奏された音を上下にベンドするために使います。演奏中にこれらのボタンを押し下げたり放したりすると、ギターのフレーズの様な、通常はキーボードでは演奏できないようなフレーズが演奏できます。

どの程度音がベンドできるかは音源によって決まります。一般的な設定は 2 半音ですが、ピッチベンドの音域を変更する方法についてはご使用の音源に付属の説明書をお読みください。

### **モジュレーション・ボタン (MOD)**

このモジュレーション・ボタンは、演奏する音のモジュレーション用に一般的に使用されるホイールの代わりにします。ボタンを押し下げると、ホイールの回転と同じ様に作用します。このタイプのリアルタイム・コントローラは、アコースティック楽器の奏者の様にビブラートなどが追加できるよう当初は電子キーボード楽器で導入されました。

ピッチベンド・ボタンと同じ様にモジュレーション・ボタンは完全に MIDI アサイン可能です。

モジュレーション用のデフォルトの連続コントローラ番号 (MIDI CC) は 1 です。

モジュレーション・ボタンの設定方法については、後述の「エディット・モード」の項目をご参照ください。

### **ボリューム・ノブ (VOLUME)**

ボリューム・ノブは、演奏する音のボリュームを操作する MIDI メッセージを送信します。

ボリューム・ノブは、デフォルトの連続コントローラ番号 (MIDI CC) の 7 にアサインされていますが、パン (バランス)、アタック、リバーブ、コーラス、その他の異なるパラメータにアサインすることもできます。

ご使用の MIDI ハードウェアまたは MIDI ソフトウェアの説明書を読んで、MIDI ボリューム・メッセージが受信できるかどうかを確かめてください。

### **サスティン・ボタン (SUST)**

サスティン・ボタンは、キーボードを押さえ続けることなく、演奏したサウンドを持続させるために使います (ピアノのサスティン・ペダルと同じ)。サスティン・ボタンを押すとサスティンがオンになり、もう一度押すとオフになります。



## エディット・ボタン (EDIT)

「EDIT」ボタンは、Keystation Mini 32 の鍵盤上の高度な機能へアクセスするために使用します。

「EDIT」ボタンを押すとキーボードが「エディット・モード」になります。「EDIT」ボタンが青色になり、キーを使って様々な高度な機能を選択したりデータを入力したりできます。

機能を選択すると同時にエディット・モードが解除される場合と、CANCEL キーまたは ENTER キーを押したときにエディット・モードが解除される場合があります。この時点で「EDIT」ボタンの LED が消え、元通りキーボードで音が演奏できるようになります。

## モード・ボタン、ボリューム・ノブなどの機能を変更するには：

「EDIT」ボタンを押します。「EDIT」ボタンが 100% の明るさで点灯し、キーボードがエディット・モードになったことを示します。

コントロールに対応する、変更したいボタンを押します。(例：モード・ボタン)

数字キーを使用してコントロールの値を入力し、Enter キーを押します。

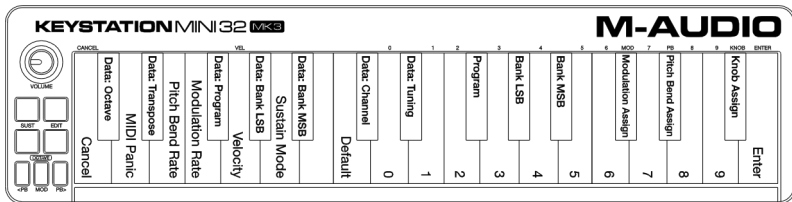
コントロール値を入力中にエラーが発生した場合は、「Cancel」を押すと変更せずにエディット・モードを終了できます。

## デフォルトのオクターブ設定に戻すには：

1. 「+」ボタンと「-」ボタンを同時に押します。両方のボタンが 50% の明るさで赤色になります。
2. 「Data=Octave」のアサインメントはキーボードの電源を切ったときも維持されます。

## 付録

## 技術仕様



電源 ≡ USB 端子経由

サイズ (横幅 × 奥行き × 高さ) 418 x 105 x 20 mm

重量 0.5 kg

※使用は予告なく変更になる場合があります。

## 商標およびライセンス

M-Audio と AIR Music Technology は inMusic Brands, Inc., の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。Mac と iPad、OS X は Apple Inc., の商標またはサービス・マークであり、米国およびその他の国々で登録されています。Windows は、米国およびその他の国々において、Microsoft Corporation の登録商標です。その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

Manual Version 1.0

# 無料修理規定

1. 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
  2. ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
  3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
    - イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
    - ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
    - ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障/損傷。
  - 二) 消耗部品を取替える場合。
  - ホ) 本書のご提示がない場合。
  - ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。

\*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポートへご相談ください。

# 保証書

製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート  
〒106-0047 東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6F  
お問い合わせ： [m-audio.jp/support/](mailto:m-audio.jp/support/)

- 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出てください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。